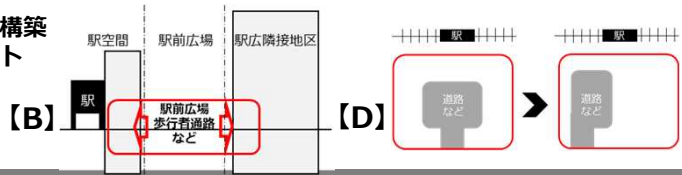


③博多駅

駅まち再構築
のポイント



● 駅まち再構築のポイント

課題

九州新幹線の全線開業により利用者増加が見込まれる中、国際観光都市の玄関にふさわしい空間が不足

- 九州新幹線全線開業へ向けた動きがある中で、駅前空間の混雑に加え「都市の玄関機能」が不足



解決策

**[B] 駅前広場の交通機能を
駅空間・駅広隣接地区に拡張**

- 立体都市計画により、再開発される駅ビルの1階部分に歩行者空間を確保
- 駅ビルの2階部分に、地区施設に位置付けられたデッキを整備

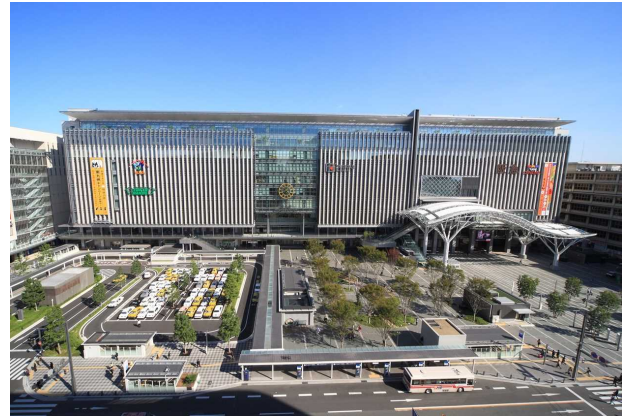
解決策

**[D] 用地交換・道路配置変更
により駅前空間を再編**

- 交通施設の一部を地下に移設し、地上も交通施設を集約する形状に道路用地と鉄道事業者用地を付け替えることにより、大規模な歩行者空間を創出



立体都市計画により駅ビル足元に歩行者空間を確保
出典：国交省資料

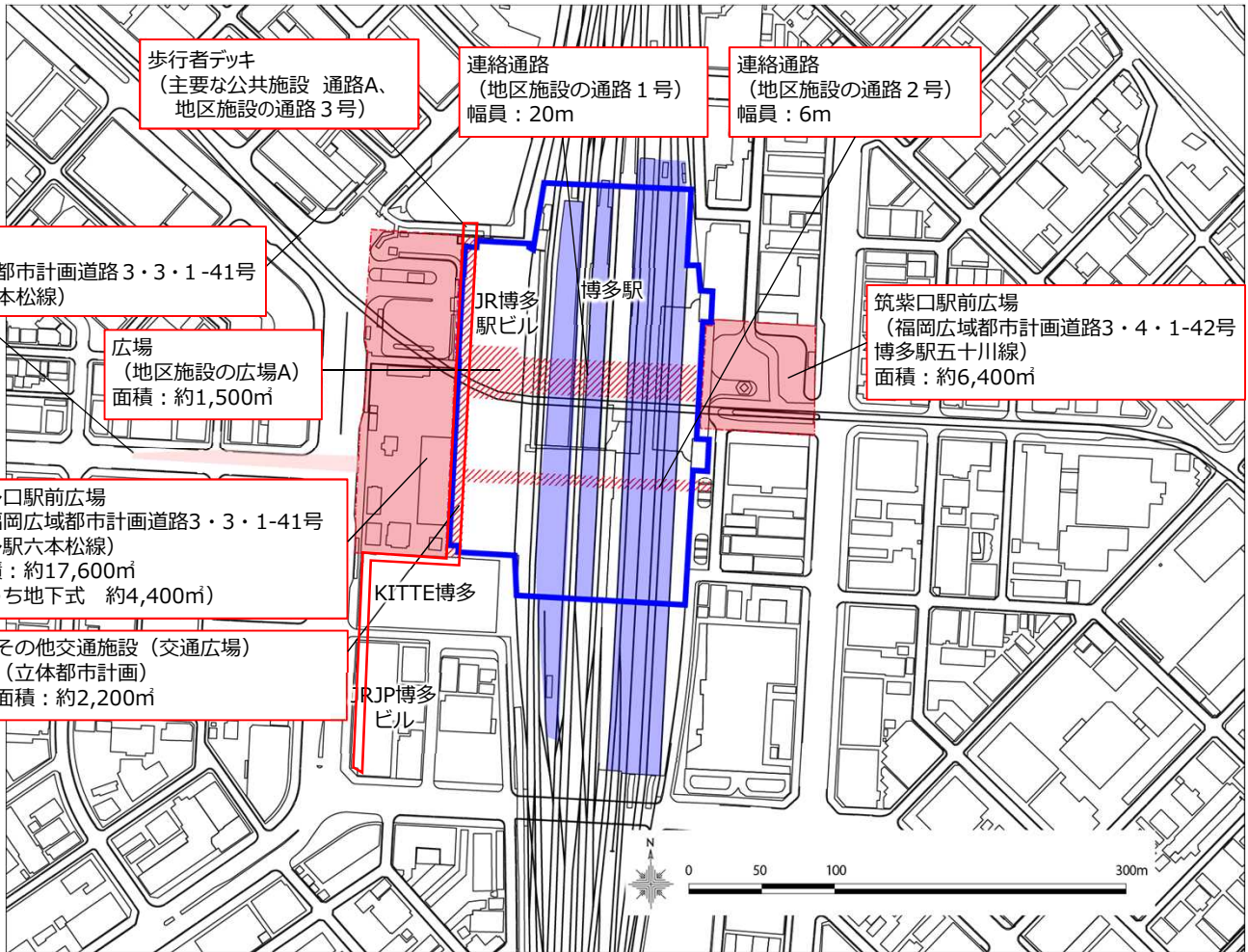


道路付け替え等により整備された大規模な歩行者空間
出典：福岡市

● 「空間の共有」と「機能の連携イメージ」

機能	空間	駅まち空間				周辺市街地
		駅空間		駅前空間		
		改札内	改札外	駅前広場	駅広隣接地区	
交通空間	乗降機能 交通結節機能		歩行者空間 デッキ 連絡コンコース	一般車乗降場 タクシー		
	交流機能 防災機能		駅前広場の機能を駅空間（駅ビル）に確保	歩行者溜まり空間 イベントスペース	用地交換・道路配置変更により歩行者空間などを創出	
環境空間	都市環境 形成機能			緑陰空間 大屋根のデザイン		
	サービス機能			サインの統一など		

● 駅周辺地図



出典：国土地理院 基盤地図情報

凡例 (✓がついているものが該当)

駅前空間	駅空間
✓駅前広場等 (都市計画決定区域)	✓駅施設 (駅ビル含む)
駅前広場等 (都市計画決定なし)	✓改札内空間
✓歩行者デッキ	駅前広場・駅広隣接地区へ拡張した範囲
✓駅広隣接地区・駅空間へ拡張した範囲	周辺市街地
駅広隣接地区 (連携し整備した地区)	サービス機能・シンボルロード等
	建物内に設置されたサービス機能

● 基礎情報

所在地 福岡県福岡市

自治体人口 159.5万人 (2019年12月)

乗り入れ路線

- 6線
- ・山陽新幹線・九州新幹線
 - ・JR西日本博多南線
 - ・JR九州鹿児島本線、福北ゆたか線
 - ・福岡市地下鉄空港線
 - ・福岡市地下鉄七隈線 (2022年度開業予定)

乗降客数

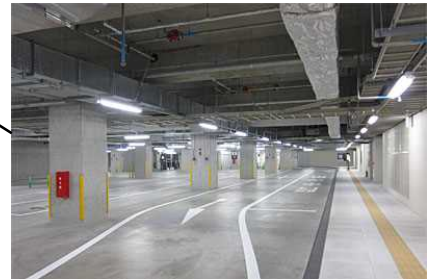
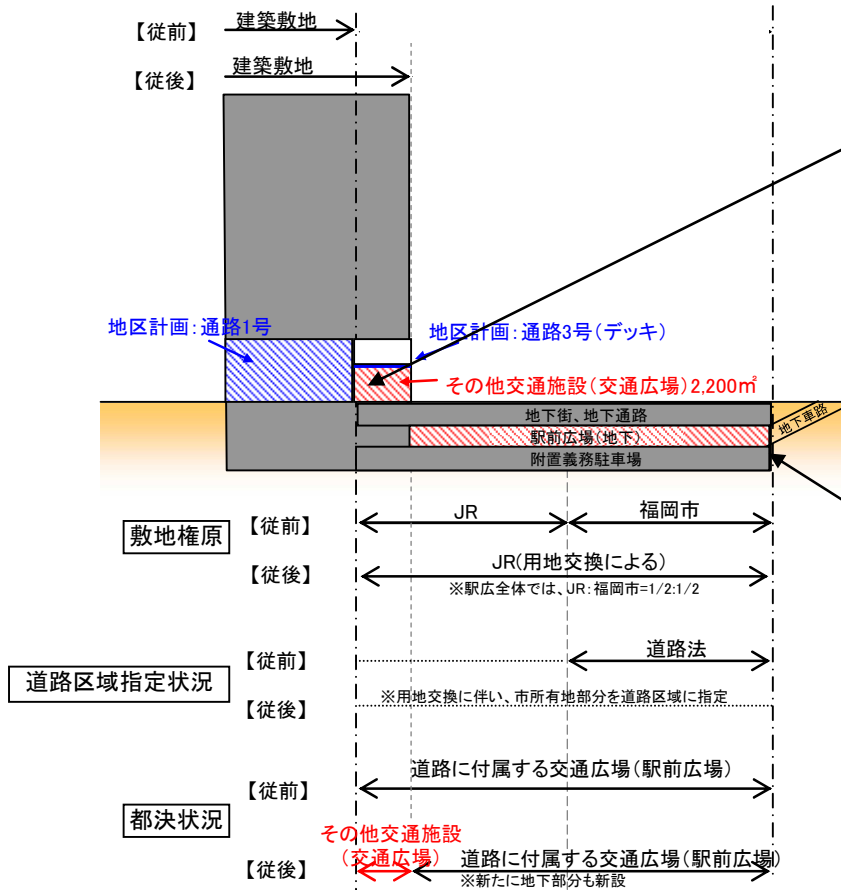
46.8万人/日
(国土数値情報 駅別乗降客数データ2017年度にJR九州の乗車人員 (2018年度) の倍数を加算)

● 駅まち再構築の実現における工夫

■ 立体都市計画制度を活用し、駅前広場機能を駅ビル敷地で確保した

- ・ 現状の駅前広場面積（都市計画決定区域）を確保しつつ、立体都市計画により駅ビルの足元を歩行者空間として立体利用することで、まとまった歩行者空間を確保した。
- ・ 駅ビル内に地区施設に位置づけられた通路・広場・デッキが整備され歩行者回遊性が向上した。

駅前広場と駅ビルの立体利用



地区施設に位置づけられた歩行者空間等



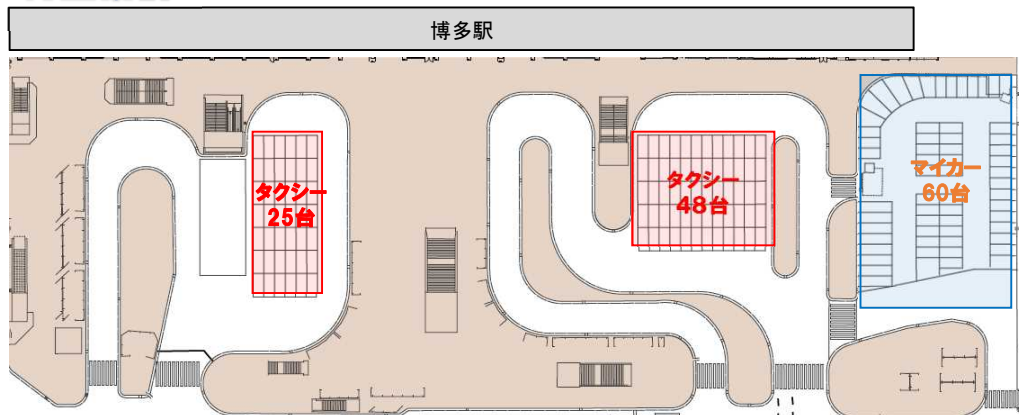
出典：博多駅中央街地区地区計画計画図

● 駅まち再構築の実現における工夫

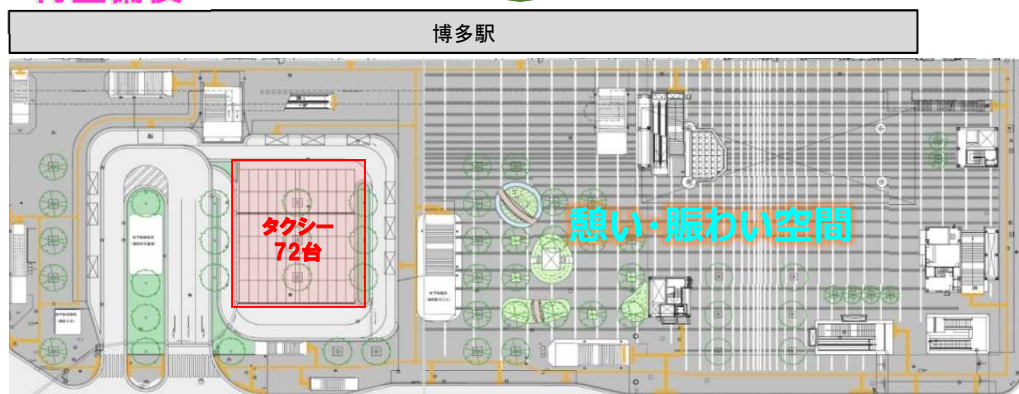
■ 道路付替により、使い勝手のよい交通施設と大規模な歩行者空間を実現した

- 交通施設の一部を地下に移設し、地上も交通施設を集約する形状に道路の付け替えを行った結果、まとまった歩行者空間の確保と、より効率的な交通施設への再整備を実現した。

再整備前



再整備後



※交通施設の一部を地下レベルへ。

事業の概要

街路事業（福岡広域都市計画道路3・3・1-41号博多駅六本松線）	
整備内容	一般車乗降場、タクシーの交通広場 地下区間の活用や道路区域（市有地）付け替えにより歩行者空間の拡充 大屋根や、緑陰空間の整備
整備主体	福岡市・九州旅客鉄道株式会社
管理主体	福岡市・九州旅客鉄道株式会社

JR博多駅ビル整備事業	
整備内容	駅ビルの再整備 駅前広場機能の一部を担う歩行者空間の整備 敷地内の歩行者通路等（地区施設）の整備
整備主体	九州旅客鉄道株式会社
管理主体	九州旅客鉄道株式会社

● 駅まち再構築の経緯

- 九州新幹線全線開業を契機としたJR九州による駅ビルの再整備とあわせて、駅及び駅周辺の再編について検討が開始され、都市再生緊急整備地域方針を前提としながら、駅前広場の都市計画変更を行った。
- 駅前広場の都市計画変更及び博多駅中央街区地区地区計画の都市計画決定により、駅前広場の概形を担保した上で、博多駅前広場等再整備検討会の中でデザインプラン案を検討し、具体的な空間性やデザインの検討を深めている。
- 博多駅中央街区地区地区計画の都市計画変更により、博多駅南西ゾーンにおいては市独自の容積率緩和制度を適用した上で、「KITTE博多」や「JRJP博多ビル」等の民間開発にあわせ地下通路や2階デッキが整備され、賑わいの創出と回遊性の向上が図られている。
- 2019年1月からは、規制緩和により民間ビル建替え等を誘導し、博多駅の賑わいと活力をさらに周辺につなげていく「博多コネクティッド」が始動している。

経緯

年度	2000	2002	2004	2006	2008	2010	2012	2014	2016	2018
上位計画	都市計画マスタープラン	都市再生緊急整備地域指定								
都市計画		博多駅前広場都市計画変更		博多駅中央街区地区地区計画都市計画決定			博多駅中央街区地区地区計画都市計画変更			
事業	九州新幹線一時開業 駅工事の追加認可		着工	JR駅ビル	九州新幹線博多駅工事	全線開業	着工	JRJP博多ビル KITTE博多	竣工	博多コネクティッド始動
			交通対策会議 駅前広場再整備等検討会	デザインプラン案確定	駅前広場再整備	供用開始				

■ 交通対策会議

駅周辺の交通円滑化をふまえた基本的な方向性について検討

- 会議メンバー : 警察, 福岡市, JR九州
- 主な検討結果 : 地下車路ルートの決定

■ 駅前広場再整備プレ検討会

駅前広場の基本レイアウト案について検討

- 会議メンバー : 交通事業者, 警察, 福岡市, JR九州
- 主な検討結果 : 交通機能 (バス・タクシー) の規模や配置

■ 駅前広場等再整備検討会

駅前広場の都市空間・景観づくりについて検討

- 会議メンバー : 地域団体, 周辺企業, 専門家, 福岡市, JR九州
- 主な検討結果 : 駅前広場のデザイン

再整備計画検討の流れ

●上位計画

■都市再生緊急整備地域方針（2004）

- ・都市再生緊急整備地域への指定にあたり、整備の方針を位置づけている。

都市再生緊急整備地域の地域整備方針：福岡市

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
博多駅周辺地域	博多駅周辺地域において、九州新幹線の開業を契機とし、交通結節機能の充実強化とあわせ、業務・商業機能等の高度化により、九州・福岡の陸の玄関口にふさわしい魅力ある都市拠点を形成	<ul style="list-style-type: none"> ○広域交通の拠点性を活かし、業務、情報交流、商業機能等を高度化 ○駅周辺の回遊性確保や円滑な交通処理に資する交通結節機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○鉄道、バス等交通機関相互の円滑な動線確保等による交通結節機能の拡充と、駅前広場の機能の再編・再整備 ○駅周辺の回遊性向上に向けた地上・地下歩行者ネットワークの充実・強化 ○都市型水害に対応するため、地域近接の御笠川の改修とあわせ、浸透施設の導入等、公共下水道の雨水排水機能を強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○歩道状、広場状の歩行者空間の確保など、九州・福岡の陸の玄関口にふさわしいにぎわいと魅力的な景観形成に配慮した都市開発事業を促進

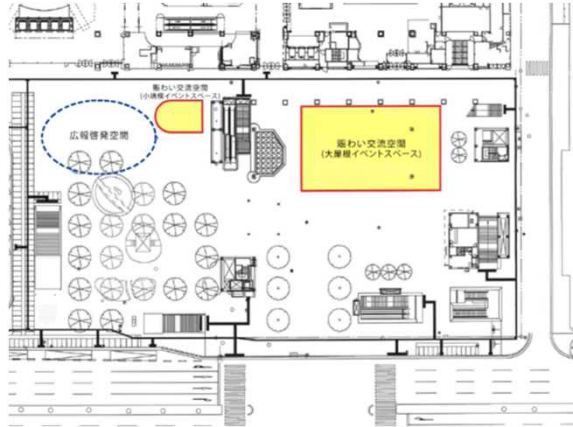
地域整備方針（2012年改定）

<p>（博多駅周辺地区）</p> <p>博多駅ビルや交通広場の再整備による先導的な都市拠点を中心として、周辺地域において、建築物等の建替更新による防災性を備えた高次の業務・商業の集積地を形成するとともに、業務・居住等の支援機能が適切に調和した多様な都市機能の集積地を形成</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○業務・商業・交流・情報発信など、質の高い都市機能を強化 ○人々が憩い、交流できる快適な市街地を形成するため、交通結節機能、歩行者交通機能を強化 ○駅周辺の回遊性確保や円滑な交通処理に資する交通結節機能の強化
<ul style="list-style-type: none"> ○天神・渡辺通地区とのアクセス機能の強化 ○鉄道、バス等交通機関相互の円滑な動線確保等による交通結節機能の拡充と、駅前広場の機能の再編・再整備 ○多様な交通機能の集積を生かした駅周辺の回遊性向上に資する地上・地下歩行者ネットワークの充実・強化 ○公共用地を効果的に活用しながら、更新期を迎えた公共施設の建替更新を図り、都市基盤、都市機能の強化を図り、その継続性確保を促進 ○駅や公園等の公共空間において、災害時に帰宅困難者や被災者が一時的に避難・待避できる機能の強化
<ul style="list-style-type: none"> ○地下鉄七隈線の延伸(天神南～博多) ○公共用地を活用し、魅力ある都市機能の強化に資する都市開発事業を促進 ○博多駅再整備に伴い整備された上空デッキを主軸として、地上・地下歩行者ネットワーク形成に資する都市開発事業を促進 ○エリアマネジメント組織と連携を図りながら、ハード・ソフトが一体となり都市機能を強化するとともにその継続性確保を推進

コラム 駅前広場内の空間（大屋根広場）の管理・運営

駅前広場内の空間（大屋根広場）の活用について

- 博多駅博多口駅前広場内の「賑わい・交流空間」には大屋根が架けられ、約826㎡の空間がイベント等に活用されている。
- 隣接する駅ビル事業者であるJR博多シティが運営を行っている。



位置図



賑わい交流空間

- 広場利用にあたっては、行政が推進する施策、企業による社会貢献活動等をPRするなどの公益的な内容を取り入れることとされている。



(地域振興イベント)



(地域振興イベント)



(PRイベント)

イベントの内容例

1 使用時間 9:00~21:00

2 本番時の使用料金

■大屋根イベントスペース(約826㎡) 単位:円(税別)

		全面使用	1/2面使用	1/3面使用
平日	全日	360,000	288,000	144,000
	半日	288,000	—	—
土日祝	全日	600,000	480,000	240,000
	半日	480,000	—	—

※9:00~21:00内の時間(半日)でご利用いただけます。

※空室・撤去日を兼ねた期前でお申込みください。

■小規模イベントスペース(約100㎡) 単位:円(税別)

平日	全日	60,000
土日祝	全日	—

※使用時間は空室・撤去を含めて9:00~21:00となります。時間外については別途追加料金があります。

※詳細についてはお問い合わせください。

※小規模イベントスペースには、ICカードが設置されています。



3 会場設営・撤去料金

基本的には本番前日の設営日から撤去日を含めた期間を「利用期間」として、お申し込みいただきます。ただし、本番前日に設営時間が確保できない場合、または9:00以前、21:00以降に設営、撤去を行う場合は時間外料金と立会料金を別途申し受けます。

【時間外※上 限前後とも3時間まで】 単位:円(税別)

平日(1時間)	12,000	土日祝(1時間)	18,000
---------	--------	----------	--------

※本番前日、本番翌日および本番当日の9:00以前、21:00以降に空室・撤去を行う際に立会料金は別に申し受けます。3時間を超える場合は、半日料金を適用させていただきます。また小規模イベントスペースは、全日料金を適用させていただきます。

4 物販歩合料金 売上(税抜き)の3%

5 電気料金 単位:円(税別)

1時間毎	750	6 立会料金 単位:円(税別)
------	-----	-----------------

1人・1時間毎	4,800
---------	-------

※当社担当者が必ず立会を行いますので、立会料金を申し受けます。

7 ゴミ処理料金 単位:円(税別)

基本料金	2,000	ゴミ袋(90ℓ)毎	500
------	-------	-----------	-----

※廃棄物の種類によってはお受けできない場合がございます。※1週間前までに事前申請必須。※汚水処理はできません。

使用条件

2020.5現在
出典：JR博多シティ「賑わい交流空間使用要項」

